

第 7 回 シクロデキストリンワークショッププログラム

2016 年 9 月 18 日 (日)
於 熊本大学薬学部宮本記念館

| | |
|-------------|---|
| 8:30～9:00 | 受付 |
| 9:00～9:10 | 開会の辞 (有馬英俊先生) |
| 9:10～9:30 | 特別講演 I (座長 平山文俊先生) 熊本大学大学院 入江徹美先生 「ライソゾーム病治療薬としてのシクロデキストリン誘導体の現状と課題」 |
| 9:30～9:50 | 特別講演 II (座長 平山文俊先生) 熊本大学大学院 有馬英俊先生 「シクロデキストリンを日本薬局方に収載するための課題」 |
| 9:50～10:05 | シクロデキストリン学会奨励賞受賞記念講演 I (座長 安楽 誠先生) 崇城大学 庵原大輔先生 「シクロデキストリン学会奨励賞を受賞して (仮題)」 |
| 10:05～10:20 | シクロデキストリン学会奨励賞受賞記念講演 II (座長 本山敬一先生) 熊本大学大学院 東 大志先生 「シクロデキストリン学会奨励賞を受賞して (仮題)」 |
| 10:20～10:25 | 休憩 |
| 10:25～11:25 | 特別講演 III (座長 有馬英俊先生) ナガセ医薬品株式会社 篠田雅充先生 「ロンミール・ウルグートの開発までの道のり (仮題)」 |
| 11:25～11:30 | 休憩 (ポスター掲示) |
| 11:30～12:10 | ポスター発表 |
| 12:10～12:15 | 写真撮影 |
| 12:15～12:20 | 閉会の辞 (有馬英俊先生) |

※ポスター発表をご希望の方は、8 月 30 日 (火) までに、要旨を作成の上、大会事務局までご連絡頂けますようお願い申し上げます。要旨は A4 サイズ半ページ程度です (次項参照)。ご不明な点はお気軽にお問い合わせください。

大会事務局: 熊本大学大学院 生命科学研究部 製剤設計学分野
有馬英俊、本山敬一、東 大志

お問合せ先: 東 大志

TEL: 096-371-4168 E-mail: higashit@kumamoto-u.ac.jp

新規遺伝子導入用キャリアとしての dendroliマ-分岐 β -シクロデキストリン結合体の設計と評価

○安野貴幸¹、東 大志¹、本山敬一¹、平山文俊²、上釜兼人²、有馬英俊¹

¹ 熊本大学大学院 生命科学研究部 製剤設計学分野、² 崇城大学 薬学部 製剤学研究室

我々は α -シクロデキストリン (α -CyD) と dendroliマ-との結合体 (α -CDE) が dendroliマ-と比較して著しく高い遺伝子導入効率を示すことを報告した。しかし、CyD 誘導体を用いた検討や dendroliマ-/CyD 間にスペーサーを導入した検討は行われていない。そこで、スペーサーとして分岐糖鎖を有するグルクロニルグルコシル β -CyD (GUG- β -CyD) を用いて新規 dendroliマ- (G2) 結合体 (GUG- β -CDE) を構築し、遺伝子導入用キャリアとしての有用性を評価した。置換度 (DS) 1.8 の GUG- β -CDE (G2, DS 1.8) が、*in vitro* および *in vivo* において α -CDE (G2, DS 1.2) および β -CDE (G2, DS 1.3) よりも特に腎臓において高い遺伝子導入効率を示し、かつその pDNA 複合体は *in vitro* および *in vivo* での高い安全性を示したことから、GUG- β -CDE (G2, DS 1.8) の遺伝子導入用キャリアとしての有用性が示唆された。